



ご進級・ご入学おめでとうございます。

4月1日、中牟田小学校に校長として着任しました、篠原 暁夫と申します。歴史と伝統ある中牟田小学校に赴任することができ、身が引き締まる思いです。始業式までの間、まず思ったのは、「よく気づき、率先して動くことができる先生方だな」「職員同士、よく声をかけあってあるな」「子どものことをよく考えて準備をしてあるな」ということです。職員一同、チームワークを大切にしながら子ども達の教育にあたります。令和8年度もどうぞよろしくお願いいたします。

●赴任式・始業式 ～新しいスタート、新しい気持ちで～

4月7日、赴任式と始業式を行いました。新しい教室、新しいクラスメイト、新しい担任の先生…期待と不安が入り混じる中で始まった赴任式と始業式。まず感心したのは、赴任者の入場を落ち着いた態度で待つなかむたっ子たちの姿でした。

赴任者の紹介が終わり、次は、始業式です。私からの話では、最初に、素晴らしい朝の放送をしてくれた放送委員会6年生の姿を伝え、次に、大きく3つのことを話しました。一つは、「あいさつを大切にしよう」ということ、二つは、「失敗を恐れずチャレンジしよう」ということ、三つは、「人を大切にしよう」ということです。いずれも、今年の中牟田小学校で大切にしたいことであると同時に、これからの長い人生を生き抜く上でも大切だと考えていることです。子どもたちに浸透するように、丁寧に伝え続けていきたいと思えます。



●入学式 ～みんなでお祝いの気持ちを込めてお迎えしました～



4月10日、第118回入学式を挙行了しました。まず、お伝えしたいのは、前日準備のことです。前日準備は、5・6年生で行いました。これは、どこの学校も変わりません。驚いたのは、それを6校時の一コマだけでやり遂げたことです。多くの学校では、2コマくらい使うので、子どもたちの集中力と職員の臨機応変な動きに感心しました。

さて、当日です。学校に来た新一年生は、ペアの6年生と行動し、時間になるとその6年生に手を引かれて体育館に入りました。保護者の皆様、ご来賓、在校生代表である6年生、そして教職員が見守る中、79名の新一年生が、立派な姿で入学式に参加しました。背筋をピンと伸ばし、話す人の目をグッと見る目が輝いていました。

新一年生の子どもたちに話したのは、「できた!」「わかった!」「やった!」という嬉しい気持ちをたくさん感じてほしいこと、そのために、「進んで学ぶ子」「心をみがく子」「体を鍛える子」の3つをがんばろうという話です。時折そわそわする姿が見られたのはご愛嬌。子どもの子どものらしさを大切にしながら、大事なことをしっかりと身に付けられるように、これからしっかりと指導、支援を行っていきます。

最後に、駐車場整理等、ご協力いただいたPTA本部役員の皆様、ありがとうございました。

退職・離任された先生方と赴任者の紹介

中牟田小学校の子どもたちのためにご尽力され、ご退職、離任された先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。新しく赴任した教職員一同、しっかりとがんばっていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

<退職・離任>

<赴任>

※ホームページ上では割愛いたします。